

中野市保育所整備計画

(平成19年11月策定)

(平成23年 3 月改定)

(平成25年 5 月改定)

(平成26年10月改定)

(平成31年 2 月改定)

目次

1	基本方針	1
(1)	中野市の保育所を取り巻く現状	
(2)	保育所の施設整備方針	
2	保育所の施設整備内容	4
3	多様な保育ニーズに対応した保育サービスの提供	9
(1)	新たな保育サービスの提供	
(2)	既存の保育サービスの充実	
	ア 通常保育	
	イ 特別保育	
	ウ 子育て相談	
4	民間活力の活用	10
5	専門職としての職員の人材育成	10
6	その他	11
(1)	保育所の災害時の役割について	
(2)	廃止する保育所の跡地について	
資料		12
(1)	中野市公立保育所施設概要	
(2)	中野市保育園マップ	

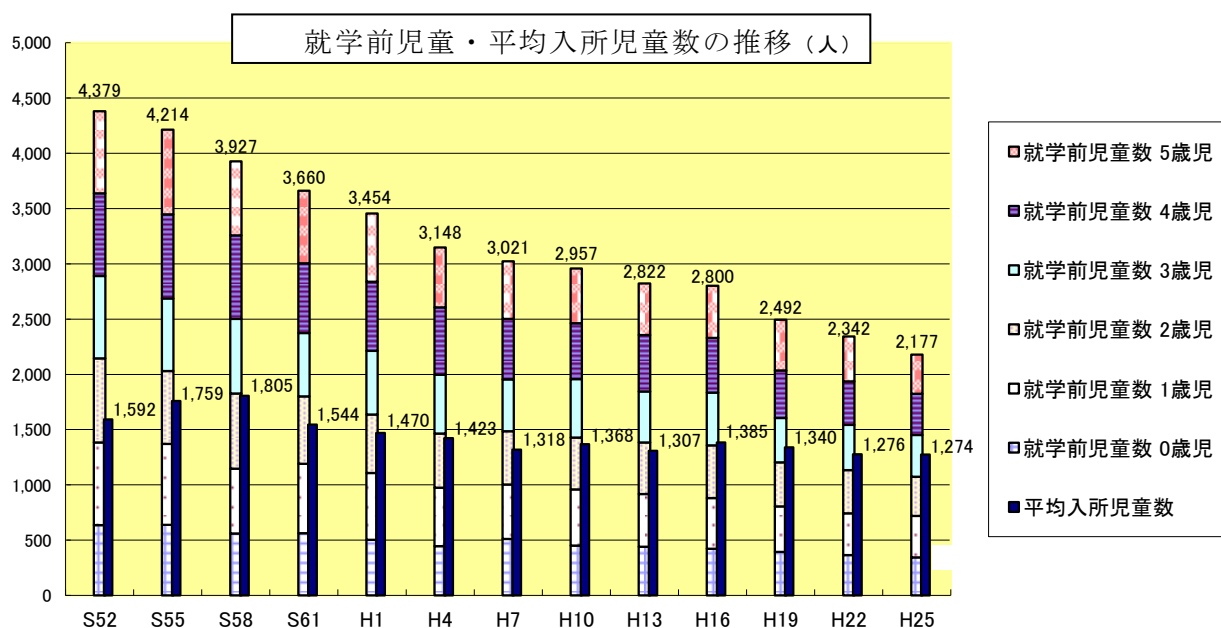
1 基本方針

(1) 中野市の保育所を取り巻く現状

本市には、公立保育所が11園、私立保育所が1園あり、公立保育所については、最も古い園は昭和35年度（1960年度）の建築で、すでに50年※が経過しようとしており、そのほかにも30年以上経過した保育所が8園※あります。（※平成23年2月現在）

現在の公立保育所の統廃合の経過については、昭和47年度（1972年度）に日野地区、延徳地区の5保育所を統合して、みなみ保育園を設置し、また、近年では、平成13年度（2001年度）に科野地区、倭地区の4保育所を統合して、たかやしろ保育園を設置しております。

私立保育所を含む保育所への入所児童数の推移については、昭和58年度（1983年度）の年平均入所児童総数1,805人をピークに徐々に減少してきており、平成22年度（2010年度）には529人減の1,276人に、平成25年度（2013年度）には531人減の1,274人となっております。



※ 就学前児童数は長野県「毎月人口移動調査」による

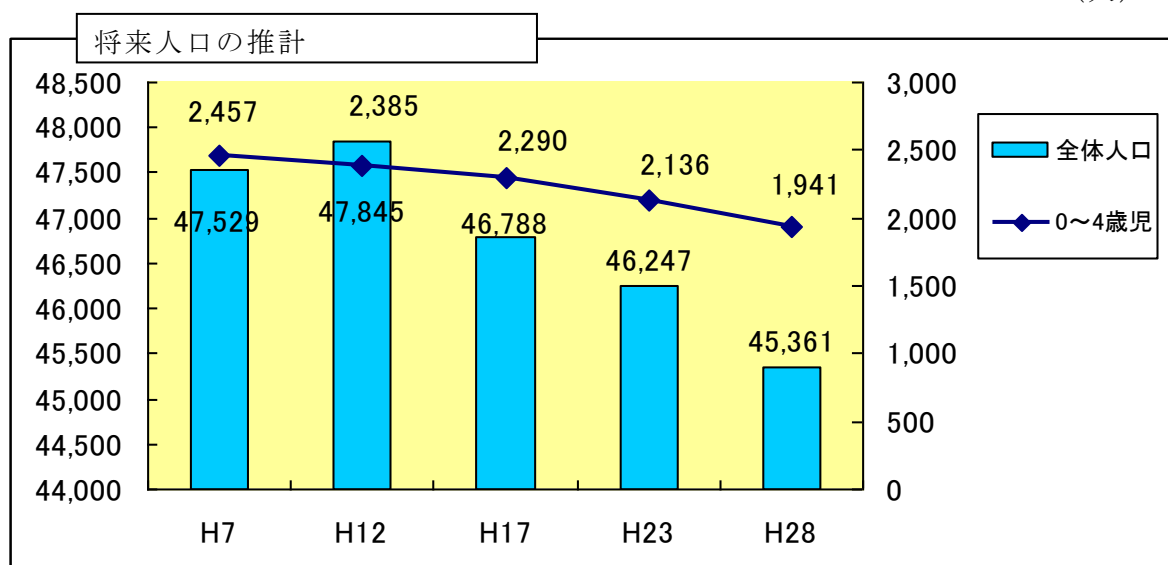
※ 平均入所児童数は各年度主要施策成果説明書の数値

この間における利用状況の変化の主な特徴として、就労形態の変化などにより3歳未満児の入所割合や長時間保育利用者が増加したこと、交通事情の変化などにより送迎に自動車を利用する保護者が増加したこと、更に、特に配慮を必要とする児童が増加傾向にあることなどがあげられ、当初の施設状況では対応に苦慮している保育所もあります。

また、児童福祉制度の大きな変化として、平成10年度から保育所への入所の仕組みが、行政が措置する制度から保護者が希望する保育所を選択できる契約制度へ転換されたことがあげられ、その結果として、より利用しやすい保育所への入所希望が集中する傾向となってきたことからも、その需要に対応できる子育て支援施設としての保育所が一層重要となってきました。

本市の将来人口については、中野市総合計画において、平成28年（2016年）には総人口45,361人と推計し、平成17年（2005年）と比較して1,427人減少すると予測しており、0歳から4歳までの年齢区分別人口で見ると、平成28年（2016年）には1,941人で、平成17年（2005年）と比較して349人減少すると予測しております。

(人)



※ 数値は中野市総合計画による

また、本市の財政状況については、国の厳しい歳出抑制策により、公立保育所に係る国、県の補助についても、平成16年度から一般財源化されており、経済環境も変化するなど厳しさが増す中で、財源の確保やコストの抑制を図るなど、基本的な収支改善の必要性に迫られています。

このような状況の中、本市では、平成18年3月に中野市次世代育成支援計画前期計画（平成18年度～平成21年度）を、平成22年3月には同後期計画（平成22年度～平成26年度）を策定し、多様な保育サービスに対応し、その質の向上を目指すなど、子育て支援に取り組んでいるところであり、また、平成19年3月に策定した中野市総合計画（前期基本計画）においても、老朽化した保育所の整備を進めることとしており、さらに、平成22年度から平成24年度を計画目標とする第2次中野市行政改革大綱実施計画（集中改革プラン）においても保育所整備計画に基づき保育所の整備を進める（必要に応じて保育所整備計画の見直しを行う。）こととしているところであり、

そこで、少子化や財政状況を考慮する中で、児童の個性を豊かに育むより良い保育環境を提供するため、公立保育所の整備計画を策定することとしました。（平成19年11月）

また、旧中野高校跡地の利活用方法を検討するなかで、同跡地の一部を保育所用地として活用できる目途が立ったことなどから、未来を担う子ども達により良い保育環境を提供するために、本保育所整備計画の一部について見直しをすることとしました。（平成23年3月）

(2) 保育所の施設整備方針

保育所整備計画を策定するに当たっては、関係者からご意見などをお聴きする必要があると考え、効率的な組織運営と幅広い保育サービスの提供について検討し、提言をいただくため、平成18年5月に中野市保育所あり方検討懇話会を設置して議論をお願いしました。

同懇話会からは、平成19年3月27日に提言があり、その内容を尊重して保育所整備計画を策定することとしていることから、次の事項を整備方針とします。

ア 本整備計画の期間は、平成20年度（2008年度）から2020年度までとし、利用者の利便性、少子化や財政状況を踏まえ、保育所の建築年度の古い順を基本に、改築と統廃合を検討すること。

イ 本整備計画期間内に整備する保育所については、本市の現在の財政状況を踏まえ、その施設整備内容を決定すること。また、それ以外の保育所については、経過年数による老朽化、児童数の推移、財政状況などを踏まえ、本整備計画期間内に方向性を検討すること。

ウ 保育所の定員については、上限を設けることとし、その数は現在運営している平野保育園の定員である210人とすること。

エ 新たな場所に設置する場合は、財政状況、利便性などを考慮し、市が所有する用地を優先すること。（長野県から取得の目途が立った旧中野高校跡地を加えることとします。平成23年3月）

オ 多様化する保育ニーズに対応できる施設とすること。

2 保育所の施設整備内容

(1) 旧中野高校の南グラウンドとテニスコート部分にみよし保育園の代替施設を整備し、名称をさくら保育園とした。	
設置場所	大字小田中字村上119番地1（旧中野高校跡地内）
定員	120人
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・みよし保育園は園舎建築から50年を経過しようとしており、老朽化が著しいこと。 ・乳幼児保育の一層の充実等多様な保育ニーズに対応し、また、児童の活動が豊かに展開されるためにふさわしい広さの施設や園庭を確保するためには、現在の敷地では狭隘であること。 ・新たに、市街地に送迎用駐車場用地を含む保育所整備の可能な用地が確保できるめどがついたこと。 ・旧中野高校跡地は、現在のみよし保育園から近く、保護者の利便性が大きく損なわれることがないこと。
新施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設面積 <ul style="list-style-type: none"> ・園舎 1,612.70㎡ 敷地 8,727.08㎡（実測値） ○特別保育内容 <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、休日保育、子育て相談
旧施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ○みよし保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・建築年度 昭和35年度（1960年度） ・定員 90人 ・構造 木造平屋建 ・延床面積 683.35㎡ ・敷地面積 3,200.20㎡
その他	

(2) 西町保育園を現地改築し、名称をひまわり保育園とした。	
設置場所	三好町一丁目6番12号
定員	100人
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・西町保育園は園舎建築から47年が経過しようとしており、老朽化が著しいこと。 ・西町保育園に隣接する旧中高医師会館（健康センター）敷地を活用することにより、児童の活動が豊かに展開される広さの施設を整備するために必要な面積が確保できること。 ・現地改築により、利用者の利便が損なわれることがないこと。
新施設概要	<p>○施設面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎 1,432.64㎡ 敷地 3,787.35㎡（実測値） <p>○特別保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、子育て相談
旧施設概要	<p>○西町保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築年度 昭和42年度（1967年度） ・定員 120人 ・構造 木造平屋建 ・延床面積 794.88㎡ ・敷地面積 2,870.85㎡
その他	○現地改築の期間中は、旧みよし保育園園舎を仮園舎として活用した。

(3) みなみ保育園を現地改築し、名称をみなみ保育園とした。	
設置場所	大字新野335番地2
定員	150人
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ みなみ保育園は園舎建築から42年が経過しようとしており、老朽化が著しいこと。 ・ 乳幼児保育の一層の充実、特別保育の拡充、子育て相談など多様な保育ニーズに対応するための施設整備が必要であること。 ・ 利用者や周辺地域の安全に配慮し、利用者が安心して子育て相談や送迎などが行えるよう、駐車場を整備する必要があること。 ・ 今後の児童数の減少は見込まれるが、既に統合された園であり、新たに周辺地域に統合対象となる園がないことから、統廃合は行わないこととした。 ・ みなみ保育園は長丘保育園よりも建築経過年数は少ないが、みなみ保育園通園児童による、先に整備予定の新園への入所希望児童数の増加をできるだけ抑制するため、先行して整備することとした。
新施設概要	<p>○概算施設面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園舎 1,616.38㎡ 敷地 4,970.06㎡ (実測値) <p>○特別保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育、子育て相談、一時的保育、産休明けからの乳児保育 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通園バス運行
旧施設概要	<p>○みなみ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和47年度 (1972年度) ・ 定員 180人 ・ 構造 木造平屋建 ・ 延床面積 1,206.34㎡ ・ 敷地面積 4,557.85㎡
その他	○現地改築の期間中は、旧みよし保育園園舎を仮園舎として活用した。

(4) 平岡保育園を改築する。	
設置場所	大字間長瀬496番地 2 (現在地)
定員	150人
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平岡保育園は園舎建築から40年が経過しようとしており、老朽化が著しい。 ・ 乳幼児保育の一層の充実、子育て相談など多様な保育ニーズに対応するための施設整備が必要である。
新施設概要	<p>○概算施設面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園舎 約1,600㎡ 敷地 4,598.47㎡ <p>○予定する特別保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育、子育て相談、一時的保育、産休明けからの乳児保育 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通園バス運行
現施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和49年度 (1974年度) ・ 定員 150人 ・ 構造 鉄骨造 平屋建 ・ 延床面積 1,300.75㎡ ・ 敷地面積 4,598.47㎡
その他	

(5) 長丘保育園を改築する。	
設置場所	大字壁田1573番地3 (現在地)
定員	50人
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・長丘保育園は園舎建築から46年が経過しようとしており、老朽化が著しい。 ・乳幼児保育の一層の充実、子育て相談など多様な保育ニーズに対応するための施設整備が必要である。
新施設概要	<p>○概算施設面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎 約600㎡ 敷地 1,360.41㎡ <p>○予定する特別保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、子育て相談、産休明けからの乳児保育 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通園バス運行
現施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築年度 昭和43年度 (1968年度) ・定員 80人 ・構造 木造 平屋建 ・延床面積 515.76㎡ ・敷地面積 1,360.41㎡
その他	

3 多様な保育ニーズに対応した保育サービスの提供

乳幼児や家庭を取り巻く環境は、以前と比べ大きく変化してきており、また、保護者の就労形態も様々であることから、保護者が求める保育サービスは多様化してきています。

また、地域においては最も身近な児童福祉施設である保育所は、子育ての知識、経験、技術を蓄積しており、その機能を地域の子育て支援に役立てることは重要であると考えます。

そこで、更なる子育て支援の充実の観点から、ニーズに応じて、次のとおり保育サービスを拡充し、充実させることとします。

(1) 新たな保育サービスの提供

病児・病後児保育

病気の回復期に至っていない児童を一時的に預かる「病児保育」、病気の回復期にはあるが集団保育が困難な児童を一時的に預かる「病後児保育」について関係医療機関等と調整を図ったうえで北信総合病院内保育園（たんぼぼ保育園）に隣接した場所において実施しております。

(2) 既存の保育サービスの充実

ア 通常保育

- ① 保護者の就労形態の変化や核家族化などにより乳児の入所数が増加していることから、3歳未満児保育の充実に努め、また、障害児を抱える保護者の精神的負担の軽減と集団での保育による児童の発達促進を図ることから、障害児保育の充実に努めることとします。
- ② 国の食育基本計画に基づき、乳幼児の健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため食育推進活動を行い、併せて、食物アレルギー児童に対する除去食対応の充実に努めることとします。

イ 特別保育

- ① 長時間保育時間の延長を検討し、実施することとします。
- ② 通常保育の集団構成と異なる一時的保育について、通常保育との必要な関連性に配慮しながら、一層柔軟な保育を行うよう努めることとします。
- ③ 休日保育について、さくら保育園で実施しております。

ウ 子育て相談

子育て不安や孤立感などを持つ子育て家庭の保護者を支援するため、乳幼児の保育に関する相談に応じ、助言を行う体制を充実させることとします。

4 民間活力の活用

国では、公立保育所の民営化に関し、従前から設置主体制限の撤廃、不動産の賃貸方式の導入など規制緩和を行い、また、公有財産の貸付け、保育所運営業務の委託先制限の撤廃などの措置を積極的に講じ、社会福祉法人など多様な民間事業者の能力を活用し、保育所の設置・運営を効率的かつ計画的に促進することとするなど保育需要に柔軟に対応できるよう努めてきております。

本市においては、中野市行政改革大綱には、民間活力の活用について、公の施設の管理については、指定管理者制度の導入を進めること、また、民営化などについて研究するとしております。

公立保育所については、これまで、通園バスの運転、施設管理・清掃などの事務を民間事業者へ委託してきたところであり、今後も、利便性、安全性、効率性、財政状況などを考慮しながら、可能な事務は民間事業者に委託することとします。

しかしながら、保育所の運営すべてを移管する、いわゆる民営化については、移管する民間事業者の選択方法、移管の手続き、移管後の市の関わりなど克服しなければならない様々な課題があり、また、公立保育所の果たす役割があることから、保護者や関係者の理解を得ながら研究することとします。

5 専門職としての職員の人材育成

保育所に求められるより質の高い保育や多様な保育ニーズに対応するためには、常に職員が保育士という職を意識し、自己研鑽に努める必要があります。

そこで、職員が研修の意義や必要性について十分理解し、常に資質の向上を図るため、職場内研修や外部研修へ積極的かつ自主的に参加できるように環境の整備に努めることとします。

また、専門的な知識を必要とする保育サービスの提供に対応するため、必要に応じ、看護師を配置することとし、併せて、民間活力の活用に関する研究経過を考慮しながら、計画的な職員採用に努めることとします。

6 その他

(1) 保育所の災害時の役割について

保育所は、地域においては最も身近な児童福祉施設であり、普段から地域住民と交流ができる施設であること、給食設備が整っており、比較的広い敷地があることから、災害時にも有効に活用することが考えられます。

また、災害時には、施設本来の目的である保育業務を行うことが、被災者を含めた市民の支援につながるものと考えられます。

このことから、新しい保育所は災害時にも対応できる施設とすることを検討することとします。

(2) 廃止する保育所の跡地について

現保育所を廃止し、新しい保育所を新たな場所へ設置する場合、廃止した保育所の跡地の利用を考える必要があります。

この跡地の利用については、周辺地域の状況、他の公共施設の必要性、地域事情などを考慮し、市全体の中で有効に活用できるよう、売却も含めて検討することとします。

資料

中野市公立保育所施設概要

平成31年(2019年)2月22日現在

マップ 番号	保育園名	所在地	定員	建築年度	土 地		建 物		構 造
					市有地	計	延床面積 (建設時)	延床面積	
					借上地				
⑤	長丘保育園	壁田1573-3	80	昭和43年度 (1968年度)	1,360.41	1,360.41	515.76	515.76	木造
⑥	平岡保育園	間長瀬496-2	150	昭和49年度 (1974年度)	1,902.10	4,598.47	1,300.75	1,300.75	鉄骨造
				2,696.37					
④	高丘保育園	草間1502	140	昭和50年度 (1975年度)	2,564.27	3,299.27	1,048.52	1,048.52	軽量鉄骨造
				735.00					
②	平野保育園	片塩41	210	昭和52年度 (1977年度)	5,324.52	5,324.52	1,395.05	1,462.14	鉄骨造
③	松川保育園	中野1461-1	160	昭和53年度 (1978年度)	1,954.34	3,153.88	1,349.46	1,349.46	鉄骨造
				1,199.54					
⑨	豊井保育園	豊津3079-1	120	平成4年度 (1992年度)	4,376.96	4,376.96	930.70	930.70	鉄骨造
⑧	永田保育園	永江1861	60	平成11年度 (1999年度)	2,036.00	2,036.00	583.30	583.30	鉄骨造
⑦	たかやしろ保育園	赤岩1525-2	120	平成13年度 (2001年度)	9,199.00	9,199.00	1,497.25	1,497.25	鉄骨造
⑩	さくら保育園	小田中119-1	120	平成24年度 (2012年度)	8,727.08	8,727.08	1,612.70	1,612.70	木造
⑪	ひまわり保育園	三好町1-6-12	100	平成26年度 (2014年度)	2,822.46	3,787.35	1,432.64	1,432.64	鉄骨造
				964.89					
①	みなみ保育園	新野335-2	150	平成28年度 (2016年度)	4,970.06	4,970.06	1,616.38	1,616.38	鉄骨造
11園合計			1,410		45,237.20	50,833.00	12,233.99	12,301.08	
					5,595.80				

斑尾高原
体験交流施設
まだらおの湯

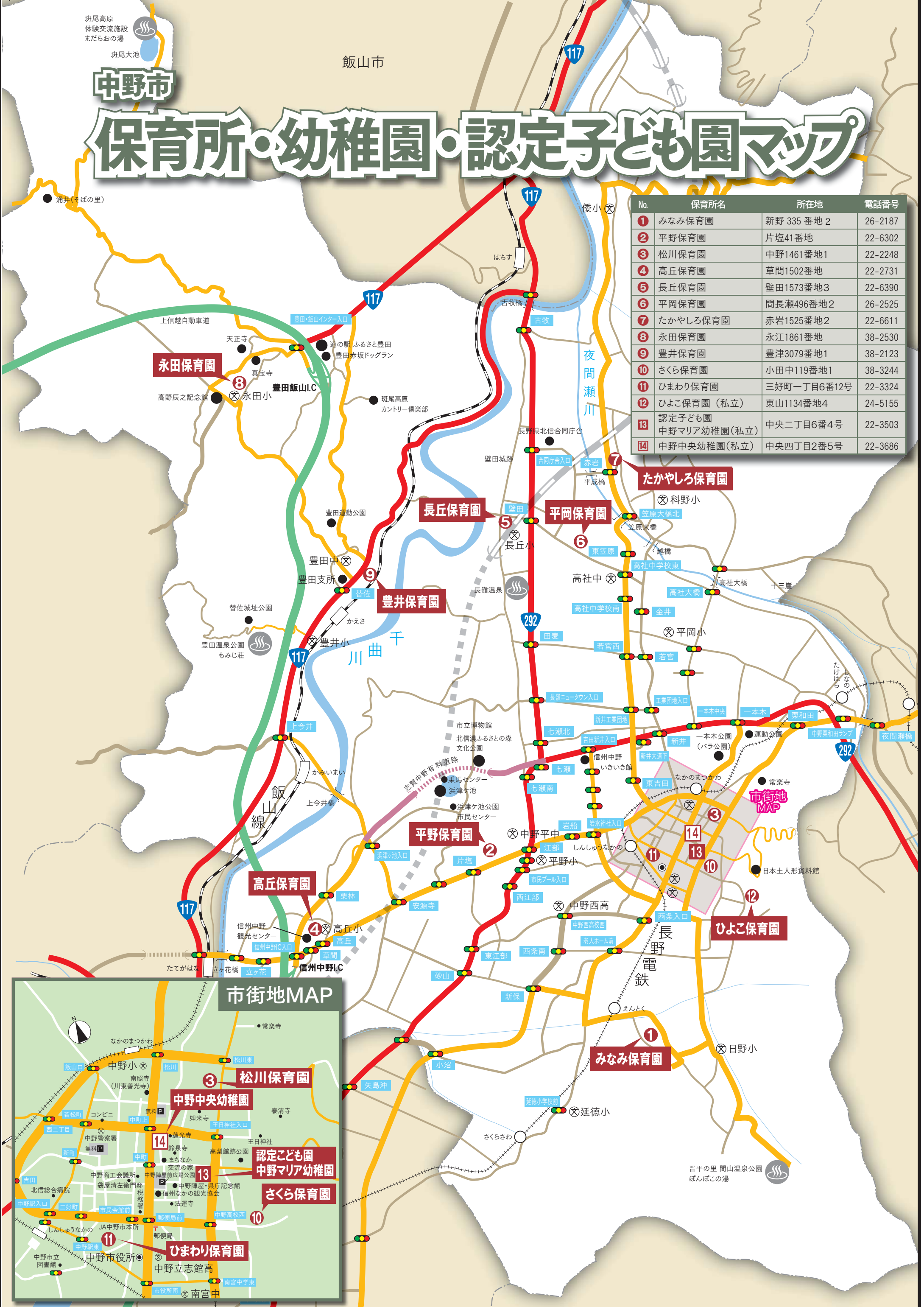
斑尾大池

中野市

飯山市

保育所・幼稚園・認定子ども園マップ

No.	保育所名	所在地	電話番号
1	みなみ保育園	新野 335 番地 2	26-2187
2	平野保育園	片塩 41 番地	22-6302
3	松川保育園	中野 1461 番地 1	22-2248
4	高丘保育園	草間 1502 番地	22-2731
5	長丘保育園	壁田 1573 番地 3	22-6390
6	平岡保育園	間長瀬 496 番地 2	26-2525
7	たかやしろ保育園	赤岩 1525 番地 2	22-6611
8	永田保育園	永江 1861 番地	38-2530
9	豊井保育園	豊津 3079 番地 1	38-2123
10	さくら保育園	小田中 119 番地 1	38-3244
11	ひまわり保育園	三好町一丁目 6 番 12 号	22-3324
12	ひよこ保育園 (私立)	東山 1134 番地 4	24-5155
13	認定子ども園 中野マリア幼稚園 (私立)	中央二丁目 6 番 4 号	22-3503
14	中野中央幼稚園 (私立)	中央四丁目 2 番 5 号	22-3686



市街地MAP

